女子大生・彩

～露出テニスの屈辱～

（Part 1）2020.5版

myuyan

サークルで人気のスポーツ美少女。罠に嵌められ、みんなの前で羞恥と屈辱の露出ショー！





若杉 彩（わかすぎ･あや）

- W大学法学部２年生
- 19歳、身長160cm、ｽﾘｰｻｲｽﾞ83,60,84
- 交際経験は高校時代に２人。但しバージンでキスも未経験
- 中学時代は水泳部、高校時代はテニス部
- 少し童顔の可愛い顔立ちで、明るくボーイッシュ、大きな瞳でにこにこ笑ったり怒ったりと、豊かな表情が魅力
- 勝ち気で正義感が強くさっぱりしていて、後輩女子から慕われるタイプ

PART 1


《W大学キャンパス内テニスサークル練習終了後》
【滝沢浩】「若杉、練習おつかれさま」
【若杉彩】「うん、今日は暑かったね」
「あのさ、今度、どっかメシでも行かない？」
「え？」
©ILLUSION


「あ、いや、深い意味はないんだけど……」
「あ、そうなんだ……」
（やばい、気まずい雰囲気だ……ええい、ここは勝負だ！）
「実は前から、若杉と一度どっか行きたいなーって思ってたんだ。どうかな？」
《一瞬間を置いてから、にっこり笑う彩》
「どうもありがとう！　すっごく嬉しい。だけど今、テニスではサークル大会優勝目指してるし、水泳サークルも兼部してるし、法学部の勉強もあって、余裕がないんだよね……ごめんなさい」
「あ、そうなんだ。忙しいんだね。それじゃあ、落ち着いたときにまた誘ってもいいかな」
「うん、ありがとう！」
「それじゃあ、また」（これって、振られたのかな…）
©ILLUSION


《練習終了後に皆でカフェへ。彩の姿をちらちら見ている浩》
【男友達】「……おい滝沢、露骨に話聞いてないよな」
「あ、ごめん……」
「ああ若杉か。振られたんだろ？　諦めろよ」
「いや、また誘ってもいいって言われたし」
「それは遠回しの断りだろ」
「でもさ、『ありがとう、すっごく嬉しい』ってにっこり笑ったんだぜ」
「……それ、俺もなんだけど」「……俺も」「同じく」
「え、お前らも振られたの？　てかお前らも若杉派？」
「髪も服もちょっとダサいけど、可愛いしな」「元気で明るくてにこにこしてるし」「胸もあるし（笑）」
「でも、怒ると怖いよなあ」「練習だれると怒るよな」
「一部の女子は反発してるらしいな」
LOVE
ORCINUS ORCA
©ILLUSION


《男子たちの視線に気づく彩》
「え、何？　私、なんか変？」
「男子達、さっきから彩を見てヒソヒソ話してたよ」
「怒ると怖いって言ってたよね」「練習厳しいとか」
「え、ひっどーい！　私、怒ったりしないでしょ」
「いや、そんなこと言ってないって」
「怖いくらい可愛いねって、な」「そうそう」
「ちょっと、やめてよ……」
「照れてるのも可愛いね」「練習熱心でいいよね」
「そうだ、今度の合宿はどうするの？」
「水泳サークルと日程、被ってるんだよな」
LOVE
ORCINUS ORCA
©ILLUSION


《頭の後ろで両手を組む彩》
「あー、そうなんだよねー。実は両方に参加するために、ちょっと調整をお願いしてるとこなんだ」
「そうそう、水泳と同じ場所で合宿するんだよね」
「水泳の合宿の最終日がテニス合宿の最初の日だし」
「へー、水泳とテニスの合宿連続なんて疲れそう」
「まあね。でもどっちも楽しいし」
「そっか。俺たちも頑張るよ」（そんな無防備な恰好されると、胸に目が……見たいな、彩のおっぱい……）
（滝沢、若杉のおっぱい見過ぎ（笑））（絶対想像してるよな、あの顔（笑））
LOVE
ORCINUS ORCA
©ILLUSION


《会話も上の空で、彩の胸を見て想像してしまう浩》
（昨日見たＡＶ思い出して……おお、透けてきたー！）
「うん、男子も頑張って。女子は今度の学内サークル対抗戦で優勝したいんだよねー」
LOVE
ORCINUS ORCA
©ILLUSION



（もっとおっぱいに集中して想像するんだ……おお、かなり見えてきた気がする）

「でもさ、今のレベルだと優勝は難しいんじゃない？」

（滝沢、そんなにジロジロ見るとばれるぞ）

「確かにね、2年と1年でもっと頑張らないとね」

©ILLUSION


（胸は灼けてないから肌は真っ白、乳首は可愛いピンク……見えた、美乳だ！）
（ばか、気づかれてるぞ！）
「あのさ、滝沢君……どこ見てるの？」
「胸ガン見だよね」「目がドスケベ」「もう最っ低！」
©ILLUSION

《カフェで解散。急な階段を浩たちは彩の後ろから登る》

「この階段いいよな」「滝沢、若杉のパンチラ期待してんだろ？（笑）」「お前らもだろ」

「あはは。それじゃあさ……」《無邪気に笑う彩》

《彩が勢いよく登るたびにスカートがふわっと上がる》

「おお、太ももも丸見え（笑）」

「ムチムチだな、これはたまらん！」「もう少しでパンツ見えそうだな」「やっぱ白かな」「水色じゃないか？」

「キャラ入りお子ちゃまパンツかも（笑）」

「風よ、吹けー（笑）」

©ILLUSION

《突然、びゅうっと強風が吹き上げる》

「え？　きゃあああっ！」

《スカートの前が捲り上がり、前方の男子が振り返る》

「おおっ」「ちょっと見えた！」「黄色だな」

《風が今度はスカートの後ろを捲り上げる》

「ちょっと駄目っ！　きゃあっ！」

©ILLUSION

《びゅうびゅう数秒止まない風》
「おおおっ」「うわ、丸見え！」
「ちょっと、いやあ！」
《スカートを押さえながら下を見た彩。浩たちと目が合う》
「滝沢くん、見ないでよ！」
「見ないでって言われても（笑）」
「目の前に丸出しだもんな（笑）」
「黄色の縞パン、可愛いね（笑）」
【女子たち】「男子、最低っ！」「可哀想でしょ！」
《軽蔑の目も気にせず、必死に見つめる男子達》

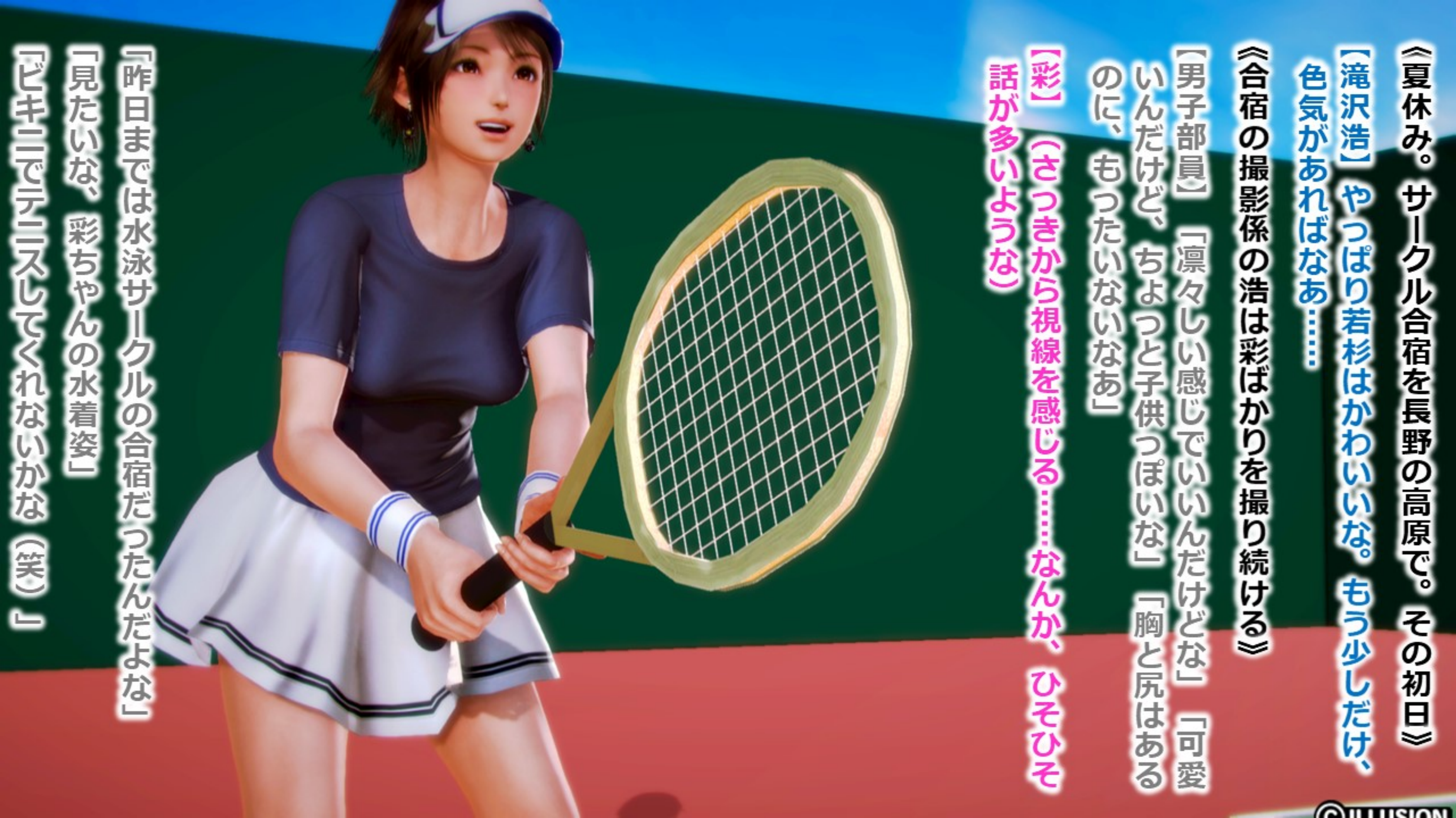
©ILLUSION

「どうして止まないの？　お願い、見ないで！」

「うわ、こりゃすげえ」「エロいケツだな」「ああ」
（くそ、写真に撮りたかった……）

©ILLUSION

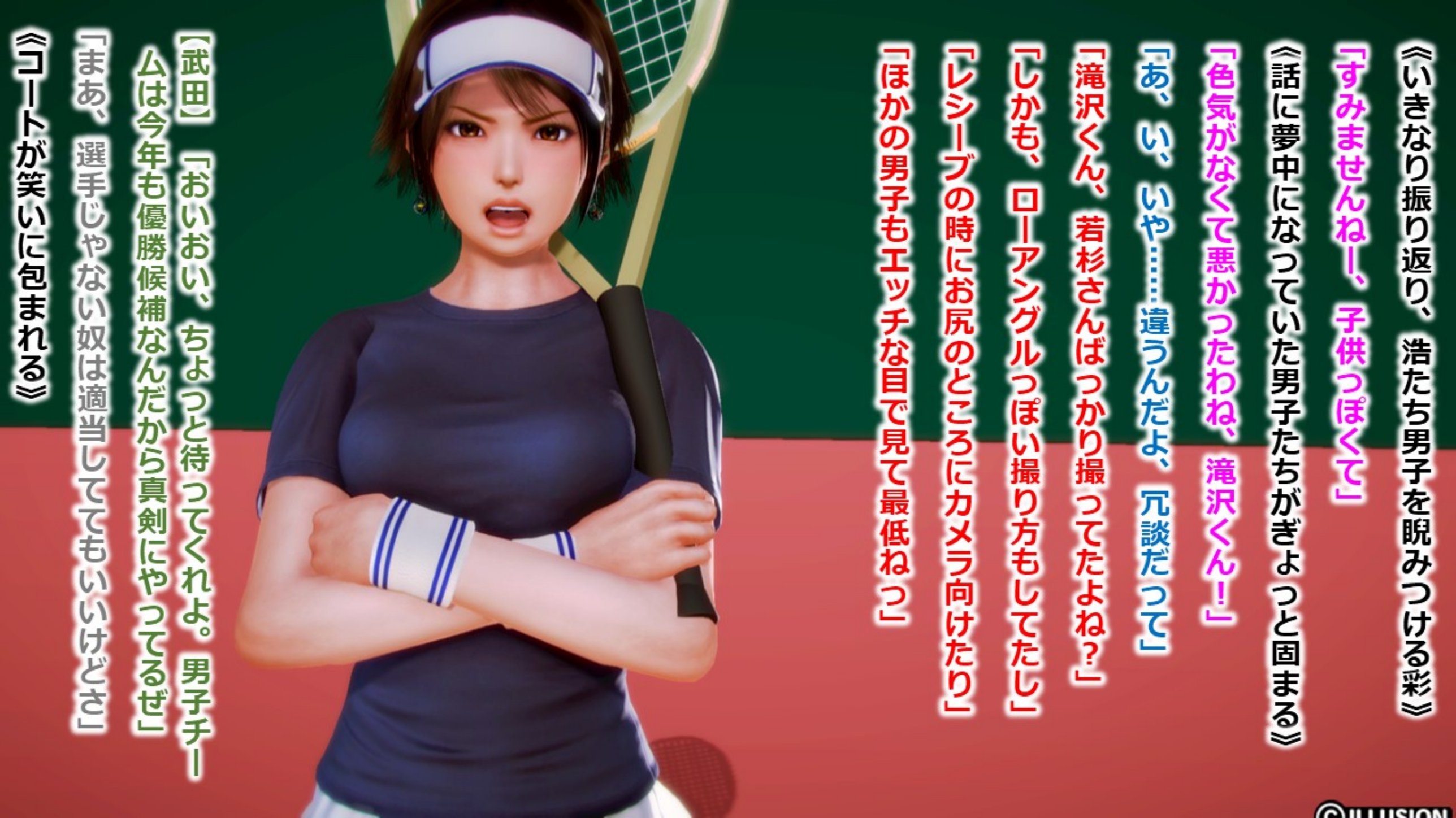
PART 2


《夏休み。サークル合宿を長野の高原で。その初日》
【滝沢浩】やっぱり若杉はかわいいな。もう少しだけ、色気があればなあ……
《合宿の撮影係の浩は彩ばかりを撮り続ける》
【男子部員】「凛々しい感じでいいんだけどな」「可愛いんだけど、ちょっと子供っぽいな」「胸と尻はあるのに、もったいないなあ」
【彩】（さっきから視線を感じる……なんか、ひそひそ話が多いような）
「昨日までは水泳サークルの合宿だったんだよな」
「見たいな、彩ちゃんの水着姿」
「ビキニでテニスしてくれないかな（笑）」


《自分の練習はせず、ひたすら彩の写真を撮る浩》
「いいねえ、このアングル！　一生懸命になると口を開いて、舌を出すのが可愛いんだよなあ」
「うん、やっぱりたまらん」「胸、でかいよな」「Tシャツで強調しちゃってるし（笑）」「俺はお尻がいいなあ」
（もう、うるさいなあ。これじゃあ集中できない）
「ちょっと子供っぽいのがあれだけどなあ……」
（滝沢くん、聞こえてるんだけど）

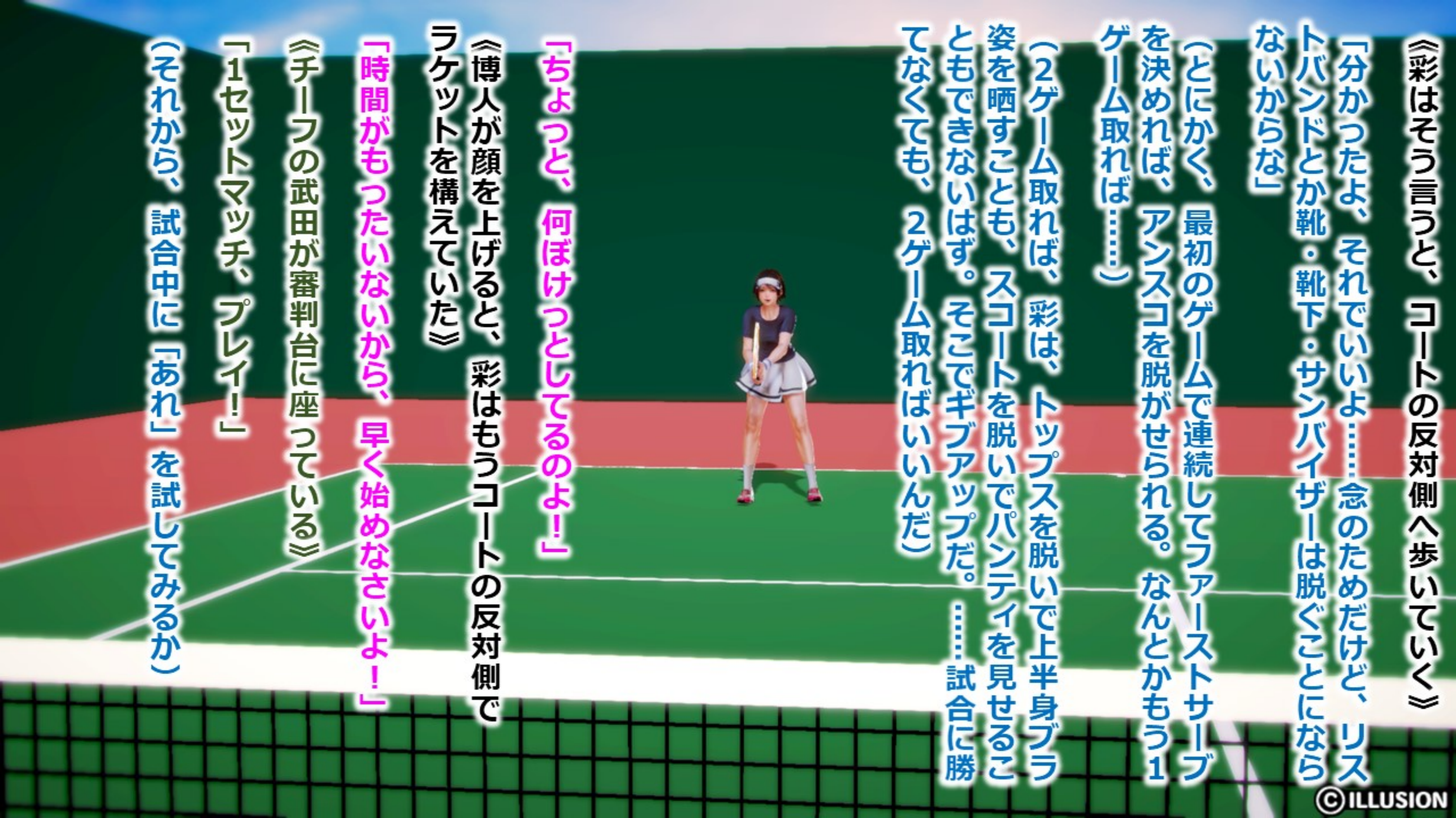

《男子たちの注目を浴びながら練習を続ける彩》
「おお、ジャンピングショット！」
「あはは、また舌出しちゃって」「おい、着地の瞬間、ちゃんと撮れよ！」
「分かってるって！」
（チャンスボールよ！　ここで絶対に決めるんだから）
「うわ、先輩、かっこいい！」
「舌チョロっと出すのが可愛いよね（笑）」
©ILLUSION


《見事にショットを決めた彩。着地の瞬間にスコートが大きく捲れる》
「おお、見えた！」
「アンスコ丸見え！」「今日はピンク、可愛い（笑）」
「アンスコもお子ちゃま！（笑）」「太ももむっちりだな？」「滝沢、ちゃんと撮ったか？」
「ばっちり撮ったって！」
（よし、決めたわ！）
「ちょっと、写真撮ってるわよ」
「ひどい、こんなの狙うなんて……」
（もう、男子、うるさいわねえ）
©ILLUSION


《いきなり振り返り、浩たち男子を睨みつける彩》
「すみませんねー、子供っぽくて」
《話に夢中になっていた男子たちがぎょっと固まる》
「色気がなくて悪かったわね、滝沢くん！」
「あ、い、いや……違うんだよ、冗談だって」
「滝沢くん、若杉さんばっかり撮ってたよね？」
「しかも、ローアングルっぽい撮り方もしてたし」
「レシーブの時にお尻のところにカメラ向けたり」
「ほかの男子もエッチな目で見て最低ねっ」
【武田】「おいおい、ちょっと待ってくれよ。男子チームは今年も優勝候補なんだから真剣にやってるぜ」
「まあ、選手じゃない奴は適当してもいいけどさ」
《コートが笑いに包まれる》


「俺だって真剣にやってるよ。この合宿では撮影係もしているから……ホームページにいい写真載せれば、サークルの宣伝にもなるだろ？」
「へえ、それが、私のパンチラ写真なわけ？」
「え、いや、それは……」（げ、ばれてた）
「ねえみんな、滝沢くんの撮影係はやっぱりやめってことにしてもいいかな？」
「賛成」「女子の方がいいんじゃないの」「そもそもみんなで撮ればいいじゃない」
「それじゃあさ、俺とテニスで勝負して決めないか？」
「はい？」
「俺が勝ったら、撮影係を継続ってことでさ」
©ILLUSION


《あきれ返った表情の彩》
「はあ？　あなたが私とテニスで勝負するわけ？」
「そうだよ。撮影係を賭けてな」
「確かに滝沢くん、高校の時はソフトテニス部でそこそこ強かったみたいだけど……硬式だったら、バックが全然ダメじゃない？」
「ああ、だから条件を付けさせてほしい」
「条件？」
「勝負は1セットマッチで。まずは俺のサービスゲームからすること。それから……」
「それから？」
「ゲームを取られた方は、服を1枚脱ぐこと。脱ぐことができなければギブアップってことで、そこで負け」
「はあ？」「バカなこと言わないでよ」「さいてー」
「いいわよ。その代わり、私からも条件があるわ。あなたは男子なんだから、途中のギブアップはなしよ」
（ふふ、1ゲームだって取られないわよ）
©ILLUSION


《彩はそう言うと、コートの反対側へ歩いていく》
「分かったよ、それでいいよ……念のためだけど、リストバンドとか靴・靴下・サンバイザーは脱ぐことにならないからな」
（とにかく、最初のゲームで連続してファーストサーブを決めれば、アンスコを脱がせられる。なんとかもう1ゲーム取れば……）
（2ゲーム取れば、彩は、トップスを脱いで上半身ブラ姿を晒すことも、スコートを脱いでパンティを見せることもできないはず。そこでギブアップだ。……試合に勝てなくても、2ゲーム取ればいいんだ）
「ちょっと、何ぼけっとしてるのよ！」
《博人が顔を上げると、彩はもうコートの反対側でラケットを構えていた》
「時間がもったいないから、早く始めなさいよ！」
《チーフの武田が審判台に座っている》
「1セットマッチ、プレイ！」
（それから、試合中に「あれ」を試してみるか）
©ILLUSION

PART 3

実は浩にはもう一つ、勝算があった。

自分は少し、時間を止めることができるようなのだ。

最初に気付いたのは、通学電車の中でだった。椅子に座っていたら、きれいなOL風の女性が乗ってきて目の前に立ち、吊革に掴まった。

その姿に見とれて、時間を止めてスカートをめくってみたい、と強く思ったところで、急に電車の音が止み、静寂が訪れた。また、青い靄に視界が包まれた。

浩は恐る恐る手を前に出し、そのスカートを捲ろうとしたが、広げた片手くらいの幅しか動かなかった。

何度か試しているうちに、法則が分かってきた。

・相手を2秒くらい見て、強く願えば時間が静止する。

・静止しているのは30秒間だけ。

・静止が終わると、自分の身体は一瞬で静止前に戻る。

・自分が弄れるのは物体のみで、10センチまで移動可。

・相手の身体に直接触ることはできない。ただ、服越しに1センチくらい揉むことはできる。

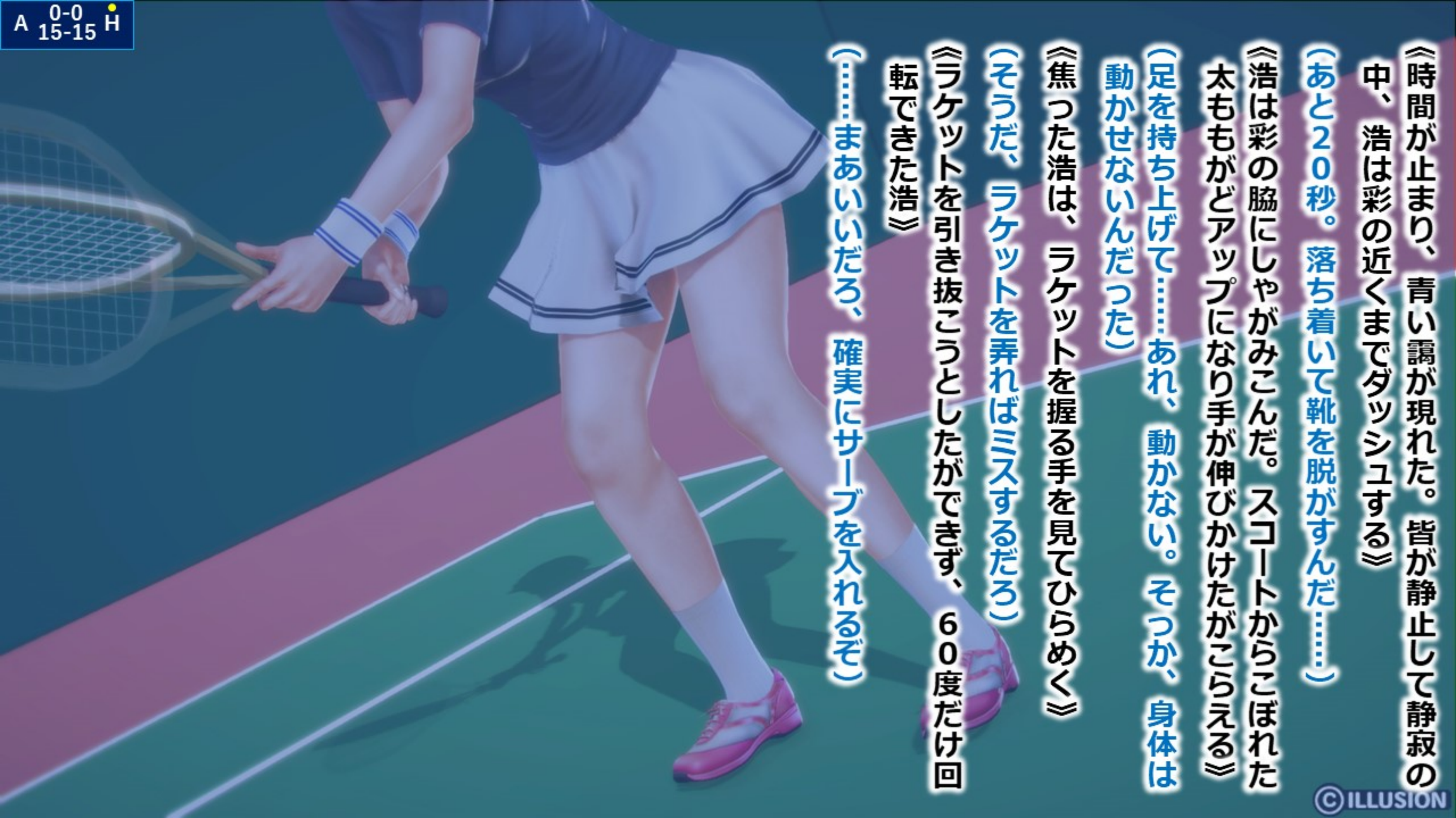
・一度時間を止めると、次に止められるのは時間再開から1分後。また、同じところは弄れない。

……この能力を使えば、彩に勝てるかもしれない……

©ILLUSION


A 0-0 0-15 H
【浩】それじゃあ、いくよー
《大きく振りかぶったフォームからファーストサーブ。ボールは鋭く飛び、サービスエリアの隅に決まる》
【武田】「フィフティーン・ラブ」
「いいぞ、滝沢！」
「いつも半分も入らないけど、入ったらエースだな」
「エースが4回続けば……」
「若松がアンスコ脱ぐんだな」
「今日も黄色パンティかな（笑）」
《彩はポーカーフェイスのままで不敵な笑み》
【彩】（速いだけで返しやすそうな球質だわ。慣れれば面を合わせることはできるし。第一、こんなサーブを続けられるはずがない）
（これなら、あれを使わなくても案外いけるかも）
©ILLUSION


A 0-0 H
15-15
《次のポイントは1stサーブ入らず、2ndサーブ。
彩がバックハンドでリターンエース！》
（よし、決まったわ！）
「あーあ、やっぱりだめか」
「1stでエース決めるしかないぞ」
「せめて、ラリー続けてパンチラ見せてくれよ」
「さすが、バックでもあっさりエース！」
「早く終わらせてください、先輩」
（くそ、あっさり返しやがって）
（2ndの時はあれを使うか……）
《浩はボールをつきながら彩を見つめる……》
（時間よ、止まれ！）
©ILLUSION


A 0-0 15-15 H
《時間が止まり、青い靄が現れた。皆が静止して静寂の中、浩は彩の近くまでダッシュする》
（あと20秒。落ち着いて靴を脱がすんだ……）
《浩は彩の脇にしゃがみこんだ。スコートからこぼれた太ももがどアップになり手が伸びかけたがこらえる》
（足を持ち上げて……あれ、動かない。そっか、身体は動かせないんだった）
《焦った浩は、ラケットを握る手を見てひらめく》
（そうだ、ラケットを弄ればミスするだろ）
《ラケットを引き抜こうとしたができず、60度だけ回転できた浩》
（……まあいいだろ、確実にサーブを入れるぞ）
©ILLUSION


A 0-0 15-30 H
《浩は1stサーブなのにゆっくり打ち、彩にとってチャンスボールとなる》
（きた、もらったわ！）
《彩は思い切りラケットを振った。しかし、鈍い音と共にボールは力なく飛び、ネットにかかってしまう》
「え、うそ、どうして？……」
（よし、引っかかった！）
「いいぞ、浩」
「タイミング外しか。ま、一度しか使えないけどな」
「なんでもいいからゲーム取れよ！」
（絶対おかしい……急にラケットの面が変わった？）
©JUMISION

使用したプログラム・素材等

■本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。（http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php）

■また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。
その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。

■本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。
転載・販売等は行わないようお願いします。